

第2次あきる野市行政改革推進プラン（改訂版）進捗状況一覧

【改革の推進項目】

1 協働のまちづくりの推進

取組の概要・担当課	取組の概要	実施年度	平成25年度の実施内容	平成26年度の実施計画
取組11 協働のまちづくりのあり方の構築 担当課 企画政策課	協働の取組の進捗状況を把握するとともに、必要に応じてテーマごとに「協働のあり方」を具現化していくことで、協働のあり方の構築に向けた検討を行います。	平成25年度 平成26年度 検討・実施	協働の理念を明らかにしながら、個々の取組を行う中で「森づくり」や「観光まちづくり」「健康づくり」など、テーマごとに「協働のあり方」を具現化してきたが、全体を取りまとめるまでには至っていない。	協働のまちづくりを進めながら、その進捗などを把握するとともに、具現化したテーマごとの「協働のあり方」を取りまとめるなど、協働のあり方を明らかにする。
取組12 市民との協働プロジェクトの推進 担当課 地域防災課 環境政策課 観光商工課 観光まちづくり活動課	防災・安心地域委員会での取組に加えて、地域力の向上を図るための新たな取組として、まちづくりのパートナーである町内会・自治会へのコミュニティ事業交付金を創設します。・・① 「郷土の恵みの森構想」を実現する取組は、森林サポートレンジャーあきる野の活動などにより、引き続き地域住民と連携した森づくりを進めます。・・② また、市と民間事業者等で構成する地域経済活性化本部において、総合的な産業の振興と地域経済力の更なる強化を図るとともに、ボランティアによる地域産業活性化応援隊を組織し、3つの活性化委員会と連携したまちづくりを進めます。・・③	平成25年度 平成26年度 実施	防災・安心地域委員会 は、市とともに地域防災力の強化に取り組む主体として、 地域防災リーダー86人の育成(計304人を認定) 、東京都と合同で実施した 総合防災訓練の共助訓練への参画 、 町内会・自治会と協賛して作成した「安否確認旗」を活用した地域の見守り体制の強化に取り組んだ 。また、災害発生時における初動から人命救助に至る一連の災害対応の習得を目的とした「 防災コンクール 」を開催するとともに、 避難所の管理運営マニュアルを作成した 。 町内会・自治会が実施する地域の公共・公益的な新たな取組を支援するため、 コミュニティ事業交付金を創設し、26団体が加入促進事業、地域資源の活用事業、安全安心対策事業、生活環境整備事業、地域活性化事業として、27事業を行った 。(地域防災課)	防災・安心地域委員会は、市と地域防災リーダーを育成するとともに、「 防災コンクール 」の実施、自主防災組織の活動指針となるマニュアルの作成に取り組む。 コミュニティ事業交付金制度については、町内会・自治会連合会で周知するとともに、市ホームページや広報紙などで事業内容等を紹介する。(地域防災課)
			5町内会・自治会等が行う7地区の森づくり事業を支援するため、 森林サポートレンジャーあきる野が11回の活動に延べ87人参加した 。(環境政策課)	17町内会・自治会による22か所の森づくり事業が予定されているため、森林サポートレンジャーあきる野に呼びかけ、協働の森づくりに取り組む。(環境政策課)
			総合的な産業振興と地域経済の発展のため、 地域経済活性化本部は本部会会議を4回開催し、3つの活性化委員会、民間事業者、各種団体などの代表と連携を図った 。 秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会は、活性化事業の一環として秋川駅北口イルミネーションを実施した 。(観光商工課)	地域経済活性化本部においては、3つの活性化委員会や民間事業者と連携し、総合的な産業振興と地域経済力の更なる強化を図るための協議を行う。 秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会は、活性化事業の一環として秋川駅北口イルミネーションを実施する。(観光商工課)
			五日市活性化戦略委員会は、「百日紅まつり」「武蔵五日市駅前イルミネーション」で舞踊連盟など地域の団体と連携、地域イベント「小峰公園さくら山まつり」への参加を通じて、養沢活性化委員会は、「植樹・景観部会」「ホテル部会」「果樹園部会」の事業展開により、協働による観光まちづくりを行った 。 (観光まちづくり活動課)	五日市活性化委員会は「 秋川溪谷 」を生かした事業、養沢活性化は「 ホテル 」を生かした事業を新たに企画検討する。 (観光まちづくり活動課)
取組13 地域懇談会の実施 担当課 企画政策課	平成21年10月に実施した「地域懇談会」は、地域住民との意見交換により、地域の課題や要望を把握し、市政運営に反映させる取組として実施しているが、この取組を継続して実施する。	平成25年度 平成26年度 実施	市三役、企画政策部等関係職員及び地域コミュニティ応援隊の正副リーダーが町内会・自治会正副会長を中心とする地域住民と話し合いを持つ場として、「 地域懇談会 」を 市内6地区(東秋留、多西、西秋留、増戸、五日市、戸倉・小宮) で開催した。 期日 10月23日～11月1日 出席者 延べ301人(うち地域住民200人)	後期基本計画の基本的取組としている「 広聴の充実 」の取組として、地域課題を解決するためのテーマを設定し、市民の意見を聴取する会として「 地域懇談会 」を市内6地区で実施する。

第2次あきる野市行政改革推進プラン(改訂版)進捗状況一覧

1 協働のまちづくりの推進

取組の概要・担当課	取組の概要	実施年度	平成25年度の実施内容	平成26年度の実施計画
取組14 市民の視点に立った政策提言の検討 担当課 市長公室 企画政策課	市民会議からの重点提言の内容をプラン(改訂版)に反映させて策定することで、市民の視点に立った政策を推進していきます。	平成25年度 平成26年度 実施	あきる野市行政改革推進市民会議からの重点提言の内容を「第2次あきる野市行政改革推進プラン(改訂版)」の取組1「民間委託等の推進」、取組9「人材育成基本方針の推進」など、12の取組に反映させた。 (企画政策課)	あきる野市行政改革推進市民会議からの重点提言の内容を反映させた「あきる野市行政改革推進プラン(改訂版)」の取組を推進することで、市民の視点に立った政策を推進する。(企画政策課)
取組15 市民アンケート調査を活用した行政運営の推進 担当課 企画政策課	市民アンケート調査は、市民の施策に対する満足度・重要度や市民ニーズを把握する取組として隔年で実施し、行政運営に積極的に活用を図っていきます。	平成25年度 実施	市民ニーズや窓口サービスの満足度を把握するため、18歳以上の市民2,500人を対象に市民アンケート調査を実施した。(有効回収率1,042通、有効回収率41.7%) 「あきる野市を住みよいまちだと感じるか」「あきる野市をどんなまちにしたいか」「施設の満足度・重要度」「防災に関する意識」「交通安全及び防犯に関する意識」「窓口サービス」について取りまとめ、行政運営に活用した。 【防災に関する意識・交通安全及び防犯に関する意識】 集計結果を地域防災課に伝え、安全・安心なまちづくりの実現に向けた取組を推進するための資料とした。 【窓口サービス】 調査結果と併せて、自由意見の中で窓口サービスについての意見や要望があった部署に対して改善の取組状況を調査し、主な取組をホームページに公開した。	人口減少への対策として定住促進策を検討するに当たり、転入者に対して、定住促進のための意識調査を実施するとともに、転出者に対する意識調査を実施する。
取組16 各種委員会委員への市民参画 担当課 全課	毎年調査を実施して、各種委員会委員への市民参画に取り組めます。	平成25年度 平成26年度 実施	委員の女性比率は、前年度から0.3ポイント増加し33.9%であった。年齢構成は、30歳代の割合が0.3ポイント増加し、60歳代と70歳代の割合がそれぞれ1.4ポイント減少した。在任期間は、1期目の委員の割合が3.1ポイント増加し、58.4%であった。 女性委員の比率が低い委員会があることや4期以上在任している委員が多数いることから、指針に基づき選任するよう、各課に依頼した。(企画政策課)	各種委員会等の委員の委嘱状況を把握するとともに、閲覧できるようにし、指針に基づく男女比率、年齢層、在任期間等に留意して、委員等を選出できるように努める。(企画政策課)
取組17 パブリックコメントの実施 担当課 全課	政策形成過程への市民参画や行政運営の公正の確保と透明化の向上を図るため、パブリックコメントを実施し、実施状況等について、市のホームページ等で情報提供します。	平成25年度 平成26年度 実施	「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、パブリックコメントを実施した。 [パブリックコメントを経て策定した計画] ・あきる野市スポーツ推進計画 ・あきる野市総合計画後期基本計画 ・あきる野市教育基本計画(第2次計画)	市民に開かれた市政運営を推進するため、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、市が策定する基本的な政策等について、市民から意見を求めて意思決定する。
取組18 アダプト制度の導入 担当課 管理課	アダプト制度の参加団体が増えるよう、広く市民に啓発していくとともに、活動が継続できるよう支援し、アダプト制度を推進していきます。	平成25年度 平成26年度 実施	「公共施設アダプト制度実施要綱」に基づき、7団体延べ306名の方が清掃、ゴミ拾い、美化・緑化活動などを行った。	公共施設アダプト制度について市民等に周知するとともに、活動が継続できるよう支援する。

第2次あきる野市行政改革推進プラン(改訂版)進捗状況一覧

1 協働のまちづくりの推進

取組の概要・担当課	取組の概要	実施年度	平成25年度の実施内容	平成26年度の実施計画
取組19 市政情報の共有化 担当課 市長公室 全課	市政情報を分かりやすく提供するとともに、本市の観光情報を中心としたフェイスブックでの取組や他市における対話型の情報提供(ソーシャルネットワーク等)の取組等を参考に、対話型の情報提供のあり方について検証を進めます。 また、将来を担う子どもたちに対する取組として、教育現場で市の広報紙やホームページの活用について検討します。	平成25年度 平成26年度 検討・実施	広報あきる野15日発行号は、引き続き1面と最終面をカラー刷りとし、情報伝達効果を高めた。また、 観光情報を中心としたフェイスブックを開設するとともに、秋川溪谷公式LINE@アカウントをスタートさせ、スマートフォンや携帯電話を活用した情報発信を行った。 新聞未購読世帯に対する広報紙の個別配布については、回覧と広報紙への記事掲載により周知を図り、3月末現在、前年度末より783件増加し1,820件の申し込みとなった。	広報あきる野は、紙面配置の工夫などによる情報伝達効果の検証する。ホームページは、サーバの更新に伴うリニューアルによりスマートフォンや携帯電話にも対応可能な仕組みとし、情報提供の対象拡大を図るとともに、Q&A機能を大幅に向上させるなど、より利便性の高い情報提供手段とする。また、「あきる野安心メール」や「るのキッズメール」では発信できなかった各種イベントなどの行政情報や地域の情報を配信する新たなメール配信システムとして「サンちゃんメール」の運用を開始する。 広報紙の個別配布は、市都民税等の納税通知書の封筒の裏面で周知するなど、取組の拡大を図る。
取組20 情報公開コーナーの充実 担当課 総務課	取組を継続し、市民にとって利用しやすい情報公開コーナーの充実を進めます。	平成25年度 平成26年度 実施	各課で作成した冊子類、公共団体の発行している図書類など、各種資料等を収集するとともに、利用しやすいように整理した。 情報公開コーナーに置いてある各種情報資料数は、1,587冊となった。(前年度比381冊減少) 各団体で発行している行政関係図書については、職員向けの貸出し用図書として活用するため、図書資料室に配置した。	各課で保有している市政情報や公共団体からの各種資料などの収集を進めて情報量を増やすとともに、職員向けに活用できる図書の見直しを図り、図書資料室等に配置する。
取組21 情報セキュリティ対策の充実 担当課 情報システム課	引き続き、内部監査及び外部監査により、情報セキュリティポリシーの運用状況を確認し、情報セキュリティ対策の充実を図ります。	平成25年度 平成26年度 実施	情報セキュリティレベルを継続的に維持するため、 職員研修を行うとともに、20課を対象にした内部監査と近隣市の情報政策担当部署との共同による相互外部監査を実施した。 また、監査結果や運用の実態などを踏まえ、情報セキュリティポリシーを改定した。	情報セキュリティレベルを継続的に維持するため、職員研修や情報セキュリティポリシーに関するセルフチェックを行うとともに、内部監査と近隣市の情報政策担当部署との共同による相互外部監査を実施する。